

第22回

金融と経済 を考える高校生 小論文コンクール

金融広報中央委員会は、
全国の高校生・高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に

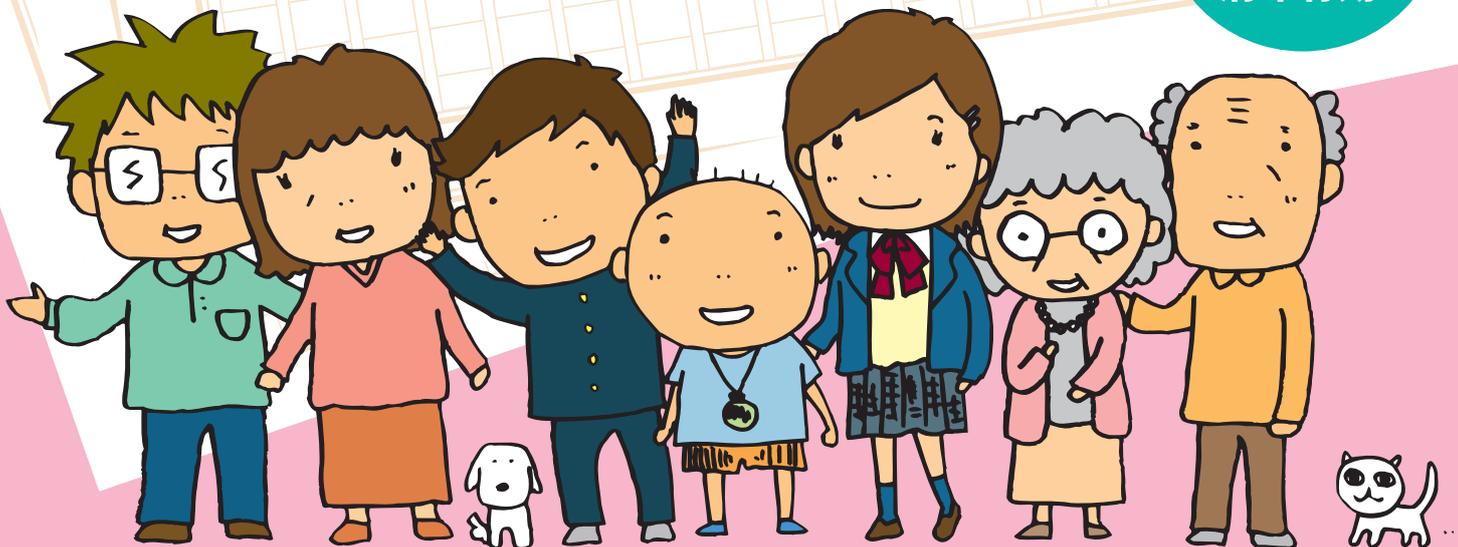
「金融と経済を考える」小論文を募集しています。

みなさんがふだん考えていること、調べたことなどをまとめてご応募ください。



- 特選5編 賞状と 奨学金 5万円
- 秀作5編 賞状と 奨学金 3万円
- 佳作10編 賞状と 図書カード 6千円分
- 学校賞5校 賞状と 図書カード 1万円分
特選受賞者在籍校

9月15日
締切!!
消印有効



(主催)金融広報中央委員会

(後援)金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、
日本私立中学高等学校連合会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会



テーマは「金融と経済」に関すること。高校生としての自分の意見や主張を小論文スタイルで表現してください。テーマを考える参考として、テーマの例を下記に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。

題名(作品タイトル)は自由です。作品の内容に相応しいものをつけてください。

- 持続可能社会の実現に向けて 高校生の私が考える「社会のためになる投資」
- 将来の夢実現 高校生の私が考える「活きたお金の使い方」
- キャッシュレス社会を生きる 「見えないお金」の便利さと怖さについて考える
- 私が社長になったなら 高校生の私が考える地域を元気にするビジネス
- オトナの自覚 社会に出る前に考えておきたい「お金」のこと
- 「未成年者取消権」喪失 高校生の私が考える悪質商法撃退策

第22回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

応募資格	高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生
賞	■特選 5編(賞状と奨学金5万円) ※特選には、後援先等による「冠賞」を授与 ■秀作 5編(賞状と奨学金3万円) ■佳作 10編(賞状と図書カード6千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
締め切り	2024年9月15日(日)※消印有効
発表	12月中旬頃、主催者ホームページで発表。
応募方法	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">郵送応募</div><div>〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス 金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係 下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 https://www.ron2024.jp/</div></div>
問い合わせ先	金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時) 金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ https://www.ron2024.jp/



先生向け

小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと

平成30年告示の学習指導要領では、論理的な文章を書く資質・能力の育成について、充実が図られました。その中で、社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動(自己を表現する力の向上を目的とした活動)として、小論文が挙げられています。金融・経済に関する諸課題や働くことの意味などについて、高校生が自分の事として捉え、事実関係やデータを調べて、考えたことを小論文にまとめる作業は、論理的思考力や表現力の向上にも繋がります。生徒には、自分の立場や論点を明確にして、考えを論じるよう指導してください。また、調べた事実やデータの妥当性・信頼性を吟味し、主張を支える適切な根拠を揃えるよう助言してください。なお、学校単位で応募いただく場合、作品の確認・添削は必要ございません。生徒が書かれた作品はすべてお送りください。

生徒向け

小論文の書き方(参考)

- 小論文を書くにあたって、上記のテーマ例を参考に自分が興味があるものや書きたいことを考えます。小論文の題名(タイトル)は、自由につけてください。
- 決めたテーマについて、自分の意見・主張を明確にします。
- 説得力を高めるため、理由・根拠となる客観的な事実やデータを調べてください。
- 最後に、構成(序論・本論・結論)を決めて、書き始めます。
- 事実やデータは自分の意見・主張と混ざらないように区別して書いてください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、国民に対し中立・公正な立場から、「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

2024年8月に金融広報中央委員会の機能は、「J-FLEC(金融経済教育推進機構:2024年4月設立)」に移管・承継される予定であり、移管・承継後はJ-FLECが主催者として、本コンクール事業を運営します(J-FLECは金融経済教育を推進するため、法律に基づいて設立された中立・公正な認可法人です)。

自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から1,587点の作品が寄せられ、20点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/



金融担当大臣賞

私のチョコレート経済学
東京都 東京都立田園調布高等学校 2年
杉田 珠江さん

作品の内容 筆者はアルバイトを母に反対されたことで時間の使い方とお金の価値について考え、高校生の1時間は、時給の金額だけではない価値があるのだと気づきます。そんな時、新聞で読んだ力カオ生産に携わる人達の低賃金労働や児童労働の問題を思い出し、アルバイト先やお金の使い道を自由に選べる自分ができることは「商品のどのように作られているかに想いを馳せ、本当の価値に見合った金額のものを買う」ことだと気づきます。「お金と時間の価値を考えたところが興味深い」と評価されました。

受賞者の声 冬休みのとある日の母との何気ない会話とそのときの私の想いを、経済の観点を入れながら半ば日記のような感覚で書きました。金融や経済を堅苦しいものと捉えていましたが、考える糸口は身近なところに潜んでいるのだと気づきました。

文部科学大臣賞

子供向け金融教育の課題について
東京都 白百合学園高等学校 1年
和田 桜子さん

作品の内容 小学生対象の金融教育プログラムに参加した筆者は、「子供も親も金融について話をするのが少なく、広がりがない」などの課題点を感じます。その理由を分析し、金融教育を効果的に行う方法を提言します。「日本人の金融リテラシーの低さ」にも言及し、「将来の目標や夢に向かってお金に関する部分でも計画的に行動でき、賢く生き、安心して暮らせる世の中を作るのに貢献したい」と結んでいます。「今の金融教育の問題を指摘し、無理のない解決策を見出している」と評価されました。

受賞者の声 子供達にも金融教育が浸透するにはまだまだ難しい課題があることを知り、これを論文にまとめることで自分の考えを整理する良いきっかけになりました。今後も経済や教育などについて学習し、課題を解決する方法について考えたいと思います。

日本銀行総裁賞

自分の足元から考える環境と経済の両立
茨城県 霞ヶ浦高等学校 1年
高藤 彩葉さん

作品の内容 筆者は、地元で起きている農地や森林管理の担い手減少や空き家の増加、耕作放棄地などの問題解決に向けて、地域住民を主体とした合意形成の必要性を訴えます。「多世代にわたって、誰もが地域の当事者としての責任が求められる」と考え、ボランティア活動を行う「高校生会」に入会しました。「持続可能な社会形成のためにどのようにお金を使えば本当に有効か、多角的な視点から金融と経済を考察し続けていきたい」と結びます。「論述の展開や言葉遣いに優れている」と評価されました。

受賞者の声 生まれ育った農村の環境が衰退していくのを目の前に、自然と人間が共生するまちづくりを考えました。教科書やメディアで取り上げられる社会問題は足元にあります。どこに住んでいても、誰もが地球と地域の当事者です。小さな事からでも行動に移し、実践を積み重ねていきたいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

「本当」の子ども食堂の姿
京都府 京都橋高等学校 1年
羽阪 彩音さん

作品の内容 子ども食堂について「孤食解消」「貧困家庭に対する食の支援」などの利点がある一方で、開催頻度の低さや世間の偏見といった問題を指摘します。その解決策として、認知度向上のために自分ができる方法を提案します。「学校での授業参観として体験することで、子ども食堂のイメージが変わり、人と人の真の「つながり」を感じる居場所になり、より良い地域づくりに貢献するだろう」と結びます。「子ども食堂に対する鋭利で突き抜けた分析をしている」と評価されました。

受賞者の声 この文章を書くにあたって「子ども食堂」について正しく知り、様々な角度から見て書くことができました。また、学生のわたしにもできることがあることに気付いた。これからも身近な場所や活動に目を向け、少しでもよりよい社会を実現できるように自分から活動したい。

金融広報中央委員会会長賞

国境なきランドセル
神奈川県 神奈川県立柏陽高等学校 2年
山口 碧大さん

作品の内容 筆者は小学校卒業後に母の提案のもと、ランドセルをアフガニスタンへ寄付しました。その後偶然寄付されたランドセルを使うニュースを見て、発展途上国への寄付や経済支援について調べます。そして、教育における貧困ループや男女格差の存在を知り、ランドセル寄付も、その解決の一助となる立派な経済支援であるとし、このような経済支援を多くの人に知ってもらいたいと考えます。「ランドセルが修学への原動力やジェンダー問題の打破の鍵になるなど目の付け所が良かった」と評価されました。

受賞者の声 この賞を通じて「ランドセル寄付という小さなことでも、貧困地域の子どもたちを救うことができる、世界を変えることができる」という小論文に書いた思いが多くの人に届くことを光栄に思います。私自身もこの思いを心に留めて、これからの日々を精進していきたいです。

秀作

風評から故郷を守るために
福島県 尚志高等学校 2年
佐藤 胡幸さん

「素直」になって
東京都 筑波大学附属高等学校 2年
三浦 愛紗美さん

ドラマから見た妊婦の現実
神奈川県 神奈川県立柏陽高等学校 2年
土井 まゆ香さん

魅力を生かした雇用とコミュニティ
宮崎県 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 5年
竹尾 薫さん

高校生の商店街ビジネス
東京都 中央大学高等学校 3年
福田 なつさん

学校賞

茨城県 霞ヶ浦高等学校
東京都 白百合学園高等学校
東京都 東京都立田園調布高等学校
神奈川県 神奈川県立柏陽高等学校
京都府 京都橋高等学校

前回 審査員 (敬称略)

松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士)

大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長) 阿部 睦子(全国家庭科教育協会理事長)

岸本 浩介(金融庁総合政策局総合政策課金融経済教育推進機構設立準備室総括課長補佐) 藤野 敦(文部科学省初等中等教育局視学官)

小牧 義弘(日本銀行情報サービス局長) 武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

